

# 肉用牛増頭対策

～ 繁殖雌牛年間1万頭増頭の達成に向けて ～

《家畜改良増殖目標における増頭目標》

	総頭数	うち肉専用種
現在(H17.2.1)	275万頭	170万頭
目標(H27年度)	348万頭	211万頭

# 肉用牛の生産性向上のための対策について

## 1 水田・耕作放棄地等を活用した新たな放牧の推進

### 課題

放牧未経験牛の事故率低下  
放牧子牛の適正評価

### 放牧の推進のポイント

- ・ 放牧牛群のリーダーになる放牧経験牛の水田・耕作放棄地等における活用
- ・ 子牛市場での放牧子牛の情報提供

## 2 乳牛を活用した肉用牛生産の拡大

### 課題

更新・廃用になる乳牛の有効活用  
受精卵の供給体制の強化

### 乳牛を活用した肉用牛生産のポイント

- ・ 廃用牛を受卵牛として活用した子牛生産
- ・ 最新技術の定着と受精卵生産の拠点づくり

## 3 繁殖性の向上

### 課題

分娩間隔の短縮  
受胎率の向上

### 繁殖性の向上のポイント

- ・ 確実な発情発見
- ・ 適期授精の実施
- ・ 土&草づくりによる飼養管理の改善

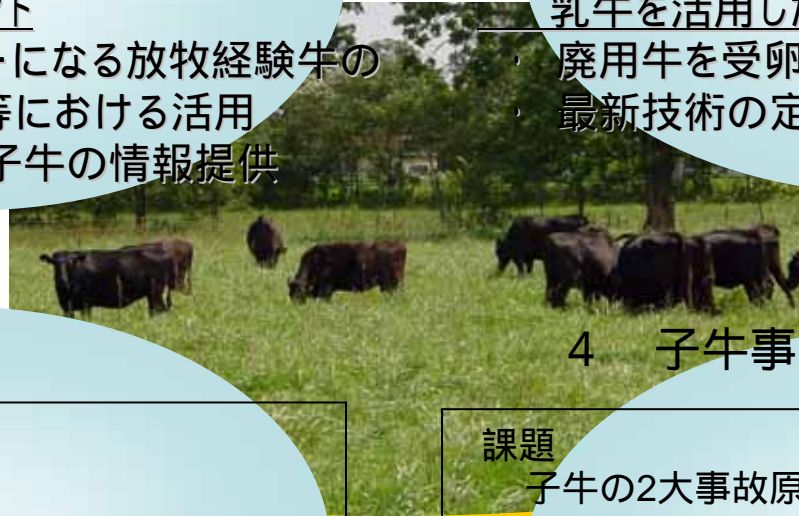
## 4 子牛事故率の低下

### 課題

子牛の2大事故原因である「下痢」と「呼吸器病」の抑制

### 疾病の予防・まん延防止のポイント

- ・ 飼養衛生管理基準に対応する子牛生産
- ・ 新たなワクチンプログラム等への集団的な取組



生産向上による増頭の実現！！

# 水田・耕作放棄地等を活用した放牧の推進

肉用牛の  
増頭の機運  
をアップ！

国土保全に  
寄与！



【肉用牛生産性向上等対策】

【地域肉用牛振興特別対策】

【肉用子牛市場流通促進対策】

新規対策



放牧経験牛のリスト作成配布や  
放牧経験牛の広域流通の促進

既存対策



ソーラー電気牧柵等の  
放牧管理機器の整備

新規対策



子牛セリにおける放牧子牛表示  
機能の追加

推進のメリット

放牧未経験牛だけの放牧による脱柵やけが等の事故を防止！

強健で、腹づくりができた放牧子牛の市場における適正な評価！

# 乳用牛の借り腹を活用した肉用牛外延的拡大のための取組

## 肉用牛増頭

### 酪農家

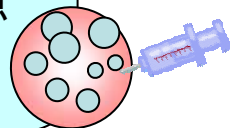
発情周期のコントロール、繁殖情報等の付与等肉用牛の繁殖に供用するための適切な飼養管理を行い、借り腹牛を受卵牛ステーションに供給



借り腹牛の発情をコントロールして直ちに受精卵移植に供用可能

### 肉用牛受精卵の供給

新たな手法による受精卵の生産・供給拠点づくりを推進



- ・ 地域内の肉用牛経営及び酪農経営等が連携して、肉用牛生産に係る地域計画を策定し、公共牧場等が核となり、酪農経営から供給される乳用牛受卵牛を集約。
- ・ その受卵牛に黒毛和種の受精卵を移植して、地域内の肉用牛繁殖雌牛を増頭。

### 受卵牛ステーション (公共牧場等)

公共牧場等で受卵牛を集約しけい養。



まとまった頭数の受卵牛に黒毛和種の受精卵を移植することにより地域の肉用牛資源を計画的に増頭。

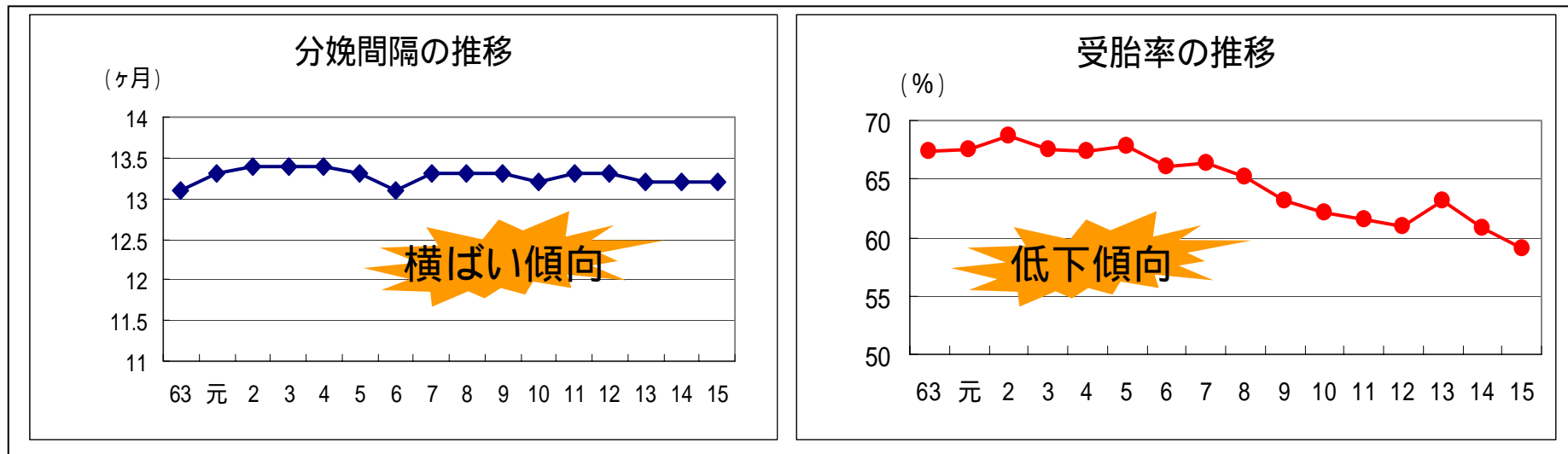


### 肉用牛農家



借り腹牛の頭数をまとめることにより、受精卵（新鮮卵）を効率的に利用

# 繁殖雌牛の能力の推移と繁殖性向上に向けた取組



## 繁殖性向上に向けた取組のポイント

確実な発情発見

適期授精

子宮回復の早期化

繁殖障害牛の減少

性周期にあわせた個体監視、確実な発情発見や適期授精等繁殖性向上につながる技術やモデル的な取組の普及

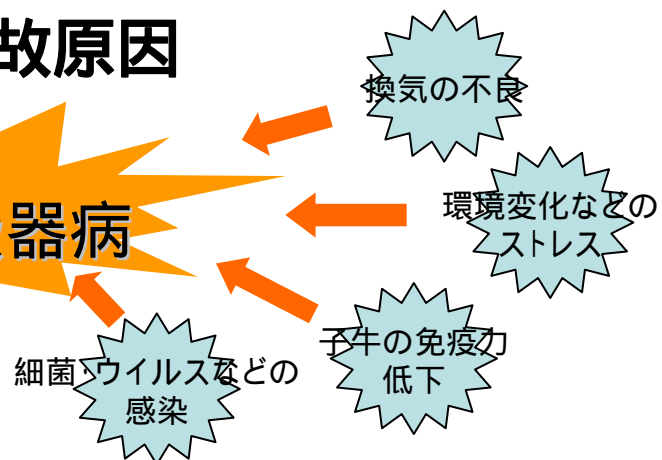
簡易な繁殖牛の誘導、確保

放牧の活用等適度な運動、土づくり・草づくりや飼料の成分管理等も考慮した栄養管理。

# 子牛事故率の低下のための取組

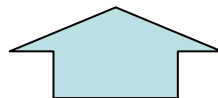
## 子牛の2大事故原因

下痢・呼吸器病



〔基本的な対策〕

初乳の確実な給与  
適切な飼養管理(保温・換気等)  
畜舎等の定期的な洗浄・消毒  
早期発見・予防



疾病の発生予防・まん延防止には、集団的な取組が効果的

### 消毒槽の設置



### カーフハッチの導入



### 生菌剤の投与



### 保温マットの導入



### 換気扇の導入



# 各ブロック毎の肉用牛の増頭目標

上段:肉用牛

下段:うち肉専用種繁殖雌牛

	平成17年度	平成27年度	増頭目標	平成18年度 増頭分
全国	275万頭 62.3万頭	348万頭 73.3万頭	73万頭 11万頭	73,000頭 11,000頭
北海道	45万頭 6.3万頭	71万頭 6.7万頭	26万頭 0.4万頭	26,000頭 400頭
東北	40万頭 11万頭	52万頭 14万頭	12万頭 3万頭	12,000頭 3,000頭
関東	35万頭 2.9万頭	42万頭 3.3万頭	7万頭 0.4万頭	7,000頭 400頭
北陸	3万頭 0.3万頭	3.5万頭 0.3万頭	0.5万頭	500頭
東海	12万頭 1.1万頭	13万頭 1.3万頭	1万頭 0.2万頭	1,000頭 200頭
近畿	9.6万頭 1.8万頭	11万頭 2.2万頭	1.4万頭 0.4万頭	1,400頭 400頭
中四国	22万頭 3.5万頭	27万頭 4.3万頭	5万頭 0.8万頭	5,000頭 800頭
九州	109万頭 36万頭	129万頭 42万頭	20万頭 6万頭	20,000頭 6,000頭